

2010年1月～2028年3月31日までに本院の検査室で、動脈硬化が疑われ 各種動脈硬化検査を受けた方へ

研究 各動脈硬化検査指標の診断能についての検討の実施について

1. 本研究の目的および方法

心臓と血管は連続しており、血管の異常から心臓に負荷がかかり、心機能が低下することもあり、心血管連関として近年注目されています。当院でも、バスキュラーラボ（超音波センターおよび生理検査室）で検査を行った方を対象に、そのデータを用いて各種心血管疾患における心臓と血管の相互関係や病態の解明に役立てたいと考えております。

対象は、2010年1月～2028年3月31日の間に、超音波センターで心エコー検査、血管エコー検査を、生理検査室で血圧脈波検査、血管内皮機能検査などの血管機能検査を受けられた方です。そのデータを用いて、心臓と血管の相互関係について解析します。

研究全体の実施期間は、2028年12月までで、目標症例数は10000例です。

本研究は当施設の倫理委員会で承認されています。

2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について

本研究では、日常臨床で行う超音波検査指標や採血データなどを収集させていただきます。そのため、本研究のために追加で必要な項目ではありません。カルテや病院記録などから得られる氏名・カルテ番号・電話番号・住所などの個人情報・検査情報については、担当医師と研究の管理者・データ管理者以外の目に触れることはないように保管します。佐田政隆が、個人情報の管理責任者であり、データの保管場所は超音波センターの本研究用のパソコンです。保管期間は、研究終了後3年間であり、保管期間終了後は完全に廃棄し、本研究以外には使用しません。

3. 研究結果の公表について

今回の研究によって得られた結果は、学会や学術論文などで公表される可能性があります。その場合においても、あなたと特定できないように配慮を行った上で（匿名化）、データの公表をおこないます。また、公表に伴い、知的財産権が生じる可能性があります。その権利につきましては、徳島大学病院循環器内科に帰属するものと致します。

4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究で使用する SphygmoCor XCEL、ヘル スクロノス TM-2772 は株式会社エー・アンド・ディ社から無償貸与を受けますが、本研究の 実施や報告の際に、金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のために専門的な判断を行うことはありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ております。

5. 本研究への参加を拒否する場合

「研究に参加しない」でもかまいません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出

下さい。本研究には、当院循環器内科の医師および超音波センターの臨床検査技師が関わっております。研究に参加しない場合や、不明な点があれば超音波センタースタッフへお話しください。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究機関】

徳島大学病院 循環器内科, 超音波センター

【研究責任者】

超音波センター 西尾 進

【連絡先】

循環器内科 佐田政隆

循環器内科 山田博胤

生理検査室 平岡葉月

生理検査室 河野裕美

超音波センター 平田有紀奈

この研究につきまして、ご不明な点がございましたら、いつでも下記までご連絡下さい。

徳島大学病院 超音波センター

電話:088-633-9311 西尾 進

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。